

長久手市行政評価票

事業番号	45	事業の名称	農楽校事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	農業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義を実施する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:東郷農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)									
	事業期間	事業開始年度	平成16年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生			総事業費	うち	一般財源		1,695	1,413	1,579	1,732	1,965		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらおう。				国費・県費									
					地方債									
					その他									
					受益者負担額		420	420	420	456	510			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
																	事業規模 事業費				
① ほ場実習の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業に対する理解、関心を深め、就農のきっかけとしてもらう。	約50回実施	農学校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	100	100	100	%	全受講生(100%)	1,631	1,349	1,515	1,640	1,861	農楽校講師報償金(実習コーチ分) 623 消耗品費 602 光熱水費 276	A 維持 維持	現行どおり実施する。全体として受講生の満足度は高いが、実習の管理体制や運営方法について、予算はそのまま、よりよい方法を模索する予定。また、修了後の就農支援の方法についても検討するとともに、修了生の就農状況も調査していく。
② 講義の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業の幅広い知識を習得し、実習に役立ててもらおう	12回実施	講義が役に立つと答えた受講生の割合	97	83	100	%	全受講生(100%)	64	64	64	48	64	農楽校講師報償金(座学講師分) 48	A 維持 維持	現行どおり実施する。実習に、よりリンクした講義を目指す。
③ 野菜販売実習	受講生	[Progress bar: 4/4]				出荷の際に必要な作業等を学び、野菜の栽培から販売までの一連を学んでもらう	2回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	89	—	100	%	全受講生(100%)	0	20	0	44	40	収穫物売払い代 44	A 維持 維持	現行どおり実施する。農楽校のPRを兼ねて、受講生と消費者との交流を図ることができた。
④		[Progress bar: 4/4]																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			農産加工体験事業	実習で行ってきた味噌造り、漬け物づくり等の加工体験を一般市民向けの体験事業として実施する。
			H26以降新規に実施する事務事業	